

原子力災害における放射線被ばくを考える

福島原発の事故以降、浜岡原子力発電所の運転停止や、茶葉、牛肉からの放射性セシウム検出などの報道により、静岡県民の間にも放射線被曝に対する不安が広がっています。

医療現場においても患者さんからの医療被曝に関する相談、質問が増加しており、一部では医療被曝を気にするあまり、必要な画像診断検査を拒否する患者さんも出てきております。

しかし患者さんなどの質問に対応する診療放射線技師の間でも医療被曝に対する誤解と混乱が生じており、診断領域の医療被曝などの低線量放射線による人体への影響について、医療放射線の専門家である診療放射線技師は、正確な知識を正しく理解しておくことが求められます。

今回、低線量放射線の生物学的影響に関する最新の知見、放射線の単位、放射線測定器の取り扱いについて、知識の再確認を行うための研究会を企画いたしました。

ご多忙とは存じますが、万障繰り合わせの上、ご参加頂けますようよろしくお願い致します。

日 時：平成23年9月25日（日）13:00～17:00（受付12:30～）

会 場：浜松医科大学医学部附属病院 1階 多目的ホール（浜松市東区半田山1丁目）

定 員：100 名

参加費：無 料

プログラム：

1. 福島県相馬市・南相馬市 遺体検案前サーベイ報告

順天堂大学医学部附属静岡病院 廣瀬 信雄 先生

2. 放射線被ばくに関する知識の再確認

日本放射線技術学会中部部会 放射線防護研究会世話人

金沢大学附属病院 能登 公也 先生

名古屋第二赤十字病院 有賀 英司 先生

3. 低線量放射線による発がんリスクと今後の課題

放射線医学総合研究所 発達期被ばく影響研究グループ 島田 義也 先生

4. 総合討論

お問い合わせ：浜松医科大学医学部附属病院 放射線部 竹井 泰孝

E-mail : cyubu_angio@yahoo.co.jp

【日本放射線技術学会中部部会・県放射線技師会 第1回合同研究会】
会場のご案内

【平成23年9月25日(日) 13:00~17:00】



浜松医科大学医学部附属病院 1階「多目的ホール」

〈交通のご案内〉

- 浜松駅からバスで約35分
- 駐車場：ご利用可能ですが、台数に限りがあります。
お車でご来場される場合にはなるべく乗りあわせの上、
お越し頂くようご協力をお願いします。
- 開催当日、正面玄関付近は病院再整備のための工事を行っている
可能性があります。会場までの道順は別途ご案内いたします。